



10月24日（水）

▼10月24日（水） ●●

1 地理 浮稲・緑の革命（高収量種）

*一代限りになってしまった種は人の注目を集めたがるのか？と考えてしまった。

2～3 数学 条件つき確率・乗法定理

*練習60のくじ、設定に容赦なし。どういふシチュエーションかはともかく、順番決めのくじがいるんじゃない？確率は確立していないが好き。でも練習1（玉を袋から出すあれ）は難しかりけり。

4 古文 東下り

*あの乾飯が涙の味になっちゃうだろうとは思っていたが、流石に埃までは予測していなかった。

5 OC 関係詞

*慣用表現は暗記と練習あるのみか。宿題の上半分は真っ赤。自前の火達磨？犀川研ネタです。

6 日史 奈良時代の政治

*玄昉・吉備真備はもはや懐かしい。楽しいが、なぜか分からないところに限ってさされる？

7 奉仕 進路講演会

*感想はプリントにまじめに書きました。大作の連続か、はたまた冗長な雑談か。そもそも雑談か否かの境目はどこに？ 気軽に書いてしまったが、つまらない質問をすると質問に答えられない以上に知性を疑われる。今の質問がどうかは別として気をつけねば。さて、まず宣言するが、面白い記事は保証しない。面白さは誰かに決めてもらうものでは

ないからだ。などと書くのが楽しいが、貴重なスペースで何をやっている！と云われそうだが、皆が勿体ないと口をそろえることをするのが最高の贅沢と語る村上ゆき（否、積〇ハウス）に便乗してこのまま続けたいが、逆接の多様で混乱してきたので中止。最近感じるのは時間の過ぎる速さ。時は金なりと云うが、時は金より遙かに貴重だ（と思っていたら、森博嗣『すべてがFになる』で犀川助教授が全く同じことを考えるシーンに出会えた）。この間まで夏だったのに…と書いて思い出したのは朱熹『偶成』。口ずさむとため息が出るのは何故？ 時間だけでない、人智でどうにもならないことに起因する欲求不満を誰かと共有したくて人は言葉を尽くし、それゆえに豊かな表現が生まれる（期末考査の『玉勝間』を思い出す）。そう思っていた。しかし…この続きを書くには、この余白は狭すぎる（フェルマ？）。貴重なスペースで何をやっていた!!

☆エチルエーテル → 瑠璃も玻璃も照らせば光

*

今日の記事には注がいるだろう（笑）。

- 村上ゆき＝シンガーソングライター。積水ハウスのC F 音楽を担当。
- 犀川助教授＝森博嗣による理系ミステリーシリーズ『S&Mシリーズ』の主人公の一人。
- 『偶成』＝朱子学で有名な朱熹の作った詩。「少年老い易く学成り難し 一寸の光陰軽んずべからず」の二句が有名。